

平成29年4月22日～23日

# キッズキャンプ 活動報告



## 4月22日(土) 1日目

暖かい陽気の中キッズキャンプを開催し、1年生から4年生まで総勢61名の子どもたちが愛川ふれあいの村の春を楽しみました。初めは緊張している様子でしたが、自己紹介をしているうちに子どもたちの顔にも少しずつ笑顔が見られ、「アウトドアクッキングが楽しみー」と話している姿もありました。



ロッジに荷物を置き、栗の木広場でじゃんけんをしたりグループになって集まるゲームをしたり、各班集まると「OKです!」と大きな声とともに緊張がほぐれたようで、笑顔があふれていました。



お弁当を食べ終えた子どもたちは班のみんなで遊びます。一番人気は桜の木に登ること、木に登ったみんなでポーズを決めて写真撮影。次は、世界に一つだけの木の名札を作ります。紙やすりをかけて表面をつるつるにしていると、皮の部分までやすりをかけて「見て!全部すべすべだよ!」と名札を作る子もいました。表は名前、裏は好きな絵や模様を書き、木の名札の完成です。



名札を作った後は、ネイチャービンゴ! ビンゴを完成させるために村内を歩き、課題に挑戦したり、“いいにおい” “すべすべしたもの” などを探したりします。探していると「こっちにすべすべした葉っぱがあったよー」「こっちのほうがすべすべするよ!」という声が聞こえてきます。桜やたんぽぽの花の匂いを嗅ぎ、班みんなで「良い匂いがするー」と声をそろえていました。自然の中から人工物を探すという課題では、“見つけても誰かに教えてはいけない” という約束がありました。しかし、見つけた喜びが約束に勝ってしまい「あった!」と思わず声を上げてしまいます。後ろからは「教えちゃダメっ」という声も聞こえてきます。どちらも真剣に楽しみたいという気持ちが伝わってきました。この後は、ベッドメイキングそして夕ご飯です。



夕ご飯の後は、「キャンドルファイヤー」です。雨が降ってしまい、残念ながら屋内での活動となってしまいましたが、子どもたちは元気いっぱいです。キャンドルを囲みながら拍手のゲームや円盤を呼ぶための体操をしたり、バナナをまねたり、心をつなげてレクリエーションを楽しみました。



## 4月23日(日) 2日目

昨夜のキャンドルファイヤーの元気が雲を晴らしてくれたようで、アウトドアクッキング日和です。目覚めと同時に「おはよう」という元気な声が聞こえてきました。起きたら自分たちが使ったシーツをたたみます。



起きた時には少し眠たそうな顔をしていた子も、朝のつどいでの体操が身体に効いたのででしょうか、朝ご飯ではぱっちり目を開けていました。この後はロッジに戻っての大掃除、そしてアウトドアクッキングです。



「春野菜のカレー」と「フルーツヨーグルト」を作ります。野菜係と火係に分かれて活動です。野菜係は、火がすぐに通るように野菜を細かく切ったり、缶切りで缶を開けたり互いに声を掛け合いながら調理をしました。火係は、カレーの準備ができるまでに薪を組みすぐに火をつけられるようにしておきます。いざ、マッチを擦ると火がついた驚きに「おー」という声が漏れていました。しばらくするとおいしい匂いが漂ってきます。



みんなで作ったカレーはとてもおいしかったようで「おいしい!」という声がいろいろな場所から聞こえてきます。ご飯を食べた後はお片付け。みんなで食器を洗い、使ったものをもとの場所に戻します。

2日間を通して、桜の花の匂いを嗅いだり、たんぽぽの綿毛を吹いたり、旬の野菜を食べたり『春』を身体いっぱいと感じ取ることができました。また、班の仲間とアウトドアクッキングなどにチャレンジしたことで、達成感を味わうことができました。また、愛川ふれあいの村で会えることを楽しみにしています。(文責：鷲山)



